



うるがの



志布志市立潤ヶ野小学校

<http://424.ciao.jp/urugano-els/>

2月号

令和8年2月20日

『尽己』

「尽己」とは、中国の古典『論語』の中に出てくる言葉で、“自分にできる最善を尽くすこと”を意味しています。「誰かと比べるのではなく、自分にできることに誠実である」という、非常にシンプルでありながら、一生を通して大切にしたい姿勢が込められています。

学校生活では、勉強でも運動でも人間関係でも、うまくいくこともあれば、思いどおりにいかないこともたくさんあります。特に子どもたちは、成長の途中にあり、経験値も少ないため、戸惑いや悩みにぶつかることは自然なことです。しかし、そんなときにこそ大切なのが「尽己」の心です。「どうせ無理だ」とあきらめるのではなく、「今の自分にできることは何だろう?」「どこを工夫すれば、少しでも前に進めるだろう?」と考え、行動しようとする姿勢は、子どもたちを大きく成長させます。この「小さな一歩を積み重ねる力」こそ、学力の基礎であり、豊かな人間性の土台であり、人生を切り開く力になると信じています。

子どもたちが「尽己」の姿勢を育てていくためには、私たち大人の姿がとても大切です。完璧である必要はありません。むしろ、失敗しながらも一生懸命に取り組む姿を見せることが、子どもにとって何よりの学びになります。「先生も挑戦している」「お父さんお母さんも努力している」そんな姿を間近に感じることで、子どもは安心し、前向きにがんばれるようになります。学校と家庭、地域が一体となり、子どもたちに「尽己」の姿勢を伝えていけるよう、ともに歩いていきたいと思えます。

社会は大きく変化を続けています。子どもたちが大人になる頃には、今は想像もつかない仕事が生まれ、価値観も働き方も大きく変わっていることでしょう。しかし、どれほど時代が変わっても、「自分にできる最善を尽くす姿勢」は、決して古びることのない普遍的な力です。

この言葉が、子どもたちの心の中に静かに灯る“支え”となり、困難などときにも前に進む力を与えてくれることを願っています。

給食試食会(2月6日)

「一日の野菜を食べるミルク味噌スープ」

雅希さんの考案した給食メニューが登場しました。この日は保護者の方にも呼びかけて、一緒に給食を楽しみました。栄養教諭の豊島先生が、ミルク味噌スープが出来るまでの過程を動画でまとめてくださり、感動しました。子どもたちから「美味しい!」「パンにも合う!」との声があがり、雅希さんはとても嬉しそうでした。

夏休みに取り組んだ「給食レシピコンテスト」では、潤ヶ野小みんなが一生懸命に取り組み、「学校賞」をいただきました。



潤ヶ野ふるさと自慢市&文化祭(2月8日)

潤ヶ野ふるさと自慢市&文化祭が、盛会に開催されました。

本校の子供たちや保護者の方々も参加しました。「歌(いつだって)」と「三原色(ダンス)」を披露し、会場を大いに沸かせました。

おやじの会は焼きそば販売に挑戦。野菜たっぷりの美味しい焼きそばがじゃんじゃん売れました。子どもたちも張り切って販売体験を行いました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。



3月の行事予定

- 3日(火) あいさつ週間・歯っぴースマイル週間(～6日)
潤小ピカピカ週間(～6日)
- 4日(水) がんがらちゃん
- 13日(金) 潤ヶ野をきれいにしよう
- 17日(火) 卒業式予行
- 18日(水) 誕生給食
- 20日(金) 春分の日 ●
- 23日(月) 卒業式準備
- 24日(火) 第133回卒業式
- 24日(火) PTA送別会
- 25日(水) 修了式・離任式
- 26日(木) 春休み(～4月7日)

